



ボランティア・NPO活動センター
国内体験学習プログラム



RYUKOKU
UNIVERSITY

福島スタディツアー参加者募集

福島の『今』を見、福島を生きる人々の『言葉』を聴き、
そして『自分』を見つめる

福島スタディツアーでは、福島県を訪れ、震災後からこの13年間でどう変化してきたのか、現在、どんな課題があるのか、課題解決に向けて市民がどのような活動を展開してきたのかなどについて、実際に、現地を訪問することによって体感的に学びます。

募集説明会を開催しますので、ツアーへの参加を希望する人は、必ず募集説明会に参加してください。

【福島スタディツアー】

◆日 程：2024年2月17日（土）～2月20日（火）3泊4日

※その他、事前事後学習等への参加必須

◆訪問先等：福島市の農園/震災遺構浪江町立請戸小学校/東日本大震災・原子力災害伝承館/南相馬市社会福祉協議会/原子力災害考証館furusato/他、各地フィールドワーク
※調整中のため、変更の場合あり。

◆募集人数：16名（対象：本学に在学する学部生）

募集期間：2023年11月17日（金）～12月6日（水）16：00

日付・場所

スタディツアー参加希望者は以下の説明会に参加してください。
募集要項を配付の上、参加費や応募要件等についてお伝えします。

◆オンライン説明会①

2023年11月17日（金）12:40～13:20

◆オンライン説明会②

2023年11月22日（水）12:40～13:20

※フォローのために、説明動画を後日配信予定

※説明会に参加できない人は、以下の問い合わせ先まで連絡下さい。

オンライン説明会のURL等は、
ポータルサイトに掲載して
います。



これまでの福島スタディツアーの様子



福島市の農園見学

安全なものを届けるための取組についてお話をうかがった。



南相馬市社会福祉協議会のみなさんと
防災教育体験



震災遺構 請戸小学校見学



夜ノ森地区のフィールドワーク

参加者の声

このツアーに参加して、東日本大震災の避難所の状況について、初めて知ることがいくつもあり、私もメディアで流れていた情報だけしか見えてなかったなと痛感しました。だからこそ今回のツアーで、テレビ等のメディアでは見えづらかったり、あまり報道されない・されてこなかった、被災地の当時と現在の状況や人々の気持ち、原発のことを知ることが出来たので良かったです。

被災地で、実際に被災した人達から色々な話を聞かせていただきながら、福島景色や建物などを自分の目で見る事ができたからこそ、初めて知ったことや考えたことがたくさんあり、本当に内容が濃いツアーだった。このツアーの参加者は、社会問題に興味のある人たちが多く、共に学び振り返りをすることがとても楽しかった。ツアーで学んだことをこれから整理・共有し、次に繋げたいと思う。

応募にあたって

興味がある人は...

- ①オンライン説明会に参加
(参加のためのURLはポータルサイトに!)
 - ②説明会で募集要項や応募方法について確認
 - ③募集期間内に応募する。
- ※わからないことがあれば、ボランティア・NPO活動センターへ!

【問合せ】

ボランティア・NPO活動センター
(深草) 成就館 1階 TEL 075-645-2047
(瀬田) 青志館横 TEL 077-544-7252
E-mail : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
(対応時間) 平日9:00~17:00
(火曜のみ10:45~)